

川崎みなと祭りで護衛艦「ゆうだち」を一般公開



自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂一海佐）は、10月11日（土）・12日（日）、川崎マリエン（川崎市川崎区）周辺で開催された「第52回川崎みなと祭り」で、海上自衛隊護衛艦「ゆうだち」の一般公開を実施した。

初日はあいにくの雨となったが、熱心なファンら約2,000人が来場した。翌12日は天候に恵まれ、家族連れを中心に約5,000人が訪れた。来場者は、間近に見る護衛艦の迫力や、甲板から眺める艦橋や港の景色を楽しみながら、艦艇見学を満喫していた。

二日目には、大学生の加藤博人さんが「一日艦長」に任命され、白い夏制服を着用して艦内を見学。艦橋から艦内放送を行うと、来場者から温かい拍手が送られた。終了後、加藤さんは「大変貴重な体験ができた」と笑顔で語った。

会場内では、自衛隊の広報ブースも設置され、制服や迷彩服の試着、災害派遣活動のパネル展示、広報官による採用制度説明などが行われた。多くの来場者が足を止め、自衛隊の活動や役割について理解を深めていた。

また、神奈川地本キャラクター「はまにゃん」「たま」「トッピーヤン」も登場し、子どもたちを中心に記念撮影を楽しむ様子が見られた。さらに、陸上自衛隊高等工科学校の和太鼓部による力強い演武も披露され、会場は終始笑顔と歓声に包まれた。

神奈川地方協力本部は「今後も積極的に広報活動を行い、自衛隊に対する理解と親しみを広げていきたい」としている。

